

Nanavi Paper

長門市観光コンベンション協会報「ななびペーパー」



2023年度の取組を振り返る

長門市観光コンベンション協会の協会報「Nanavi Paper」。

今号は、2023年度の当協会の取組をご紹介します。来年度も長門市観光を盛り上げるために励んでいきますので、どうぞ引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、QRコードから見ることもできる特集WEBページでは、体験プログラム「ナガトリップ」2024年春限定のアクティビティをピックアップ。随時プログラムを追加していきますので、ぜひこちらもご参加ください。

ナガトリップは
QRコードから



今回の Nanavi Paper

特集 令和5年度 of 取組報告 観光地域づくり法人(DMO)に登録 ほか
事業者インタビュー 「炭火やきとり 田中家」田中 陽一郎 さん・美樹 さん

特集

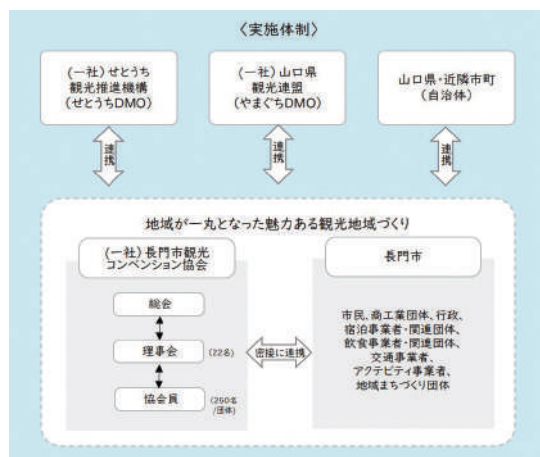
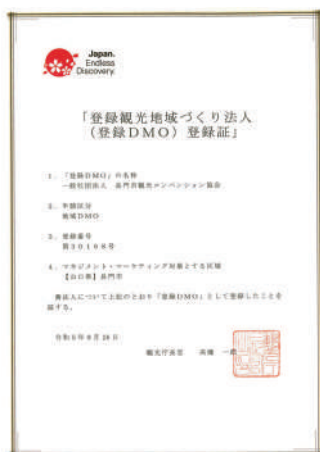
令和5年度の 取組報告

「観光地域づくり法人
(DMO)」に登録

令和3年度(2021年度)から登録に向け事務手続きを進めてきた『観光地域づくり法人(DMO)』に、昨年9月26日に登録されました。

『観光地域づくり法人(DMO)』とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った地域づくりの『舵取り役』です。

今後、本会は会員の皆さま方や関連諸団体と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、『ながとブランドの創造』に向け、事業を推進してまいります。また、長門市民がながとの観光を誇れるとともに、観光客が訪れてほしいと思えるように持続可能な環境整備にも取り組みます。



福岡市・クリスマスアドベント



岡山市・旅ミルン

情報発信業務

観光情報サイト「ななび」の運営を行うとともに、各種SNSを活用し、ターゲットを明確化した情報発信を行いました。また、JRや県、市と連携し、東京・大阪・福岡・岡山でのキャンペーンに参加。旅行者やメディアに向けて観光情報をPRしました。ほかにも新たな試みとして、大手カメラメーカーNikonとタイアップし、インフルエンサー写真家を招聘。SNS上とウェブでの特集記事で多方面にPRを行いました。



長門市駅観光案内所
(TEL 0837-22-1300)

「長門市駅観光案内所」開設
2023年6月1日、長門市駅舎内に観光案内所をオープンしました。スタッフ1名が常駐し、観光案内やレンタサイクルの貸出を行っています。
※2024年3月末現在不定休



NICO STOP「Zfと巡る、写真女子旅 in 長門市」



ななび特集記事

撮影の様子をドキュメンタリー記事にまとめました。

YouTube

フォトグラファー・ビデオグラファーの3人が、長門市おすすめスポットを巡る写真女子旅。



「ナガトリップ」企画・運営

長門市ならではの体験観光イベント「ナガトリップ」。今年度は、通年プログラム18プラン、期間限定プログラム34プランをはじめ、タクシープランなどを企画し、全体で約1,700人の申込がありました。

夏期のプログラムとして実施されたSUPやシーカヤックなど、主に長門の海や自然を楽しむアクティビティが人気を集めました。

今後は、悪天候の場合の代替メニューの検討やインバウンド向けプログラムの造成に、関連事業者様と一緒に取り組んでいきます。



青海島でのSUP体験



油谷湾でのシーカヤック体験

観光旅行者周遊促進事業

公共交通機関や「おとずれ号」「カルスト号」など、福岡および京阪神方面からの高速バスを利用して長門市を訪問される観光客の二次交通対策として、レンタカー事業、ながと周遊観光タクシー事業を実施。交流拠点のセンザキッチンから市内を周遊していただき、滞在時間や宿泊日数の延長につながるようコースを設定し、周遊ルートの紹介や情報発信を行っています。

● 路線

センザキッチン ▼ 元乃隅神社 ▼

俵山温泉 ▼ 長門湯本温泉 ▼

センザキッチン

● 通常運賃

大人(中学生以上) 2,000円
小人(小学生以下) 1,000円

※8/31(土)まで

運賃半額キャンペーン実施中

Web アンケート集計（抜粋）

一人当たりの平均消費額

〔宿泊旅行の消費額平均値〕

	市内の消費額	全国平均（参考）	基本計画目標（参考）
宿泊費	21,547 円	—	—
土産代	4,071 円	—	—
飲食費	4,905 円	—	—
交通費	2,045 円	—	—
入館料等	1,379 円	—	—
全体の費用	33,240 円	55,054 円	35,000 円

※全国平均は、発地～発地の合計金額（2022年度調査）

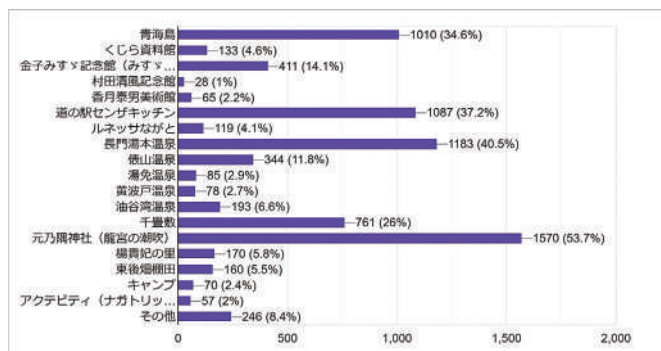
〔日帰り旅行の消費額平均値〕

	市内の消費額	全国平均（参考）	基本計画目標（参考）
土産代	2,504 円	—	—
飲食費	3,373 円	—	—
交通費	1,365 円	—	—
入館料等	965 円	—	—
全体の費用	7,619 円	17,334 円	8,000 円

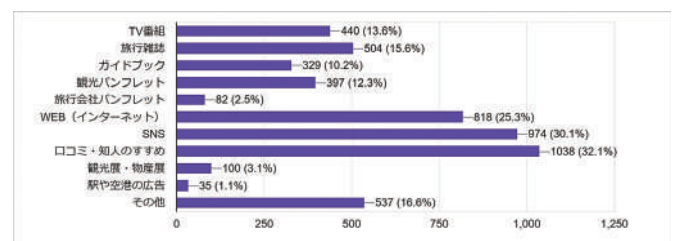
※全国平均は、発地～発地の合計金額（2022年度調査）

※2泊以上の旅行の場合も、全日程の消費単価を記載
（2泊した場合は、2泊分の宿泊代・3日間の各費用で計算）

満足した観光地



来訪のきっかけ





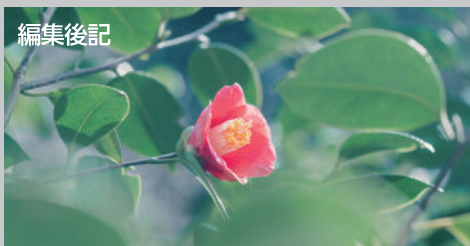
1970年、大阪市生まれ。趣味は妻の美樹さんとの食べ歩き。20代の頃にはやきとり店の店長を務めた経験も。大阪の企業で営業や駅内の店舗経営などに携わった後、2019年12月に地域おこし協力隊として長門市へ移住。2021年5月に協力隊を退任して「田中家」を開業。

2021年5月、長門市駅南口に開業した「炭火やきとり 田中家」。長州どりのやきとりを中心に、変わり串や野菜串、一品料理などを揃え、家族連れからご年配の方、旅行者や外国の方まで、幅広い層に親しまれています。地鶏「長州黒かしわ」の皮のタレ焼き、濃厚な長州どりの白肝、特製唐揚げ「ながチキ」、自家製のはちみつレモンチューハイなど、オリジナリティあふれるメニューも多いのが特徴です。食材は地産地消にこだわり、たれは地元のようにゆをベースに、長門産の果物や黒糖、県内産の地酒をブレンド。炭も三隅産と県内産をミックスし、生産者の顔が見え、安心して味わえるやきとりを追求してきました。夫婦で全国各地のやきとり店に足を運んでも、そのたびに長州どりの魅力を再認識し、ここでもしか食べられない味を研究しています。

地域おこし協力隊の任期中は、市内の店舗で技術を磨きつつ、家庭でやきとりを楽しむような下ごしらえ・串打ち・焼きの動画のネット配信、やきとり文化や歴史などをまとめたガイドブック作りなどに挑戦。市内の20店舗を超えるやきとり店を取材し、個性豊かな串やお店の方々の思いに触れた経験が、今のお店づくりに活かされています。

「やきとり店は人が集まる場所。ここで出会った人から良い報告があったり、何かが生まれたりすることが自分のことのように嬉しい」お客さんもスタッフもみんなが家族のようだと話す田中さんを囲むように、今夜も「田中家」には温かい空間が広がります。

編集後記



△寒い日が戻り、今年の桜の予測ができずに不安です。写真は某所で見つけた椿。まだまだ頑張ってます(え)

最新情報は「ななび」から
<https://nanavi.jp>

ながと観光ななび
ななび



会報紙 Nanavi Paper vol.19 発行日 2024年4月1日

発行 一般社団法人長門市観光コンベンション協会

〒759-4106 長門市仙崎 4297-1

道の駅センザキッチン 観光案内所「YUKUTE」内

TEL 0837-27-0074 FAX 0837-27-0079 E-mail info@nanavi.jp